

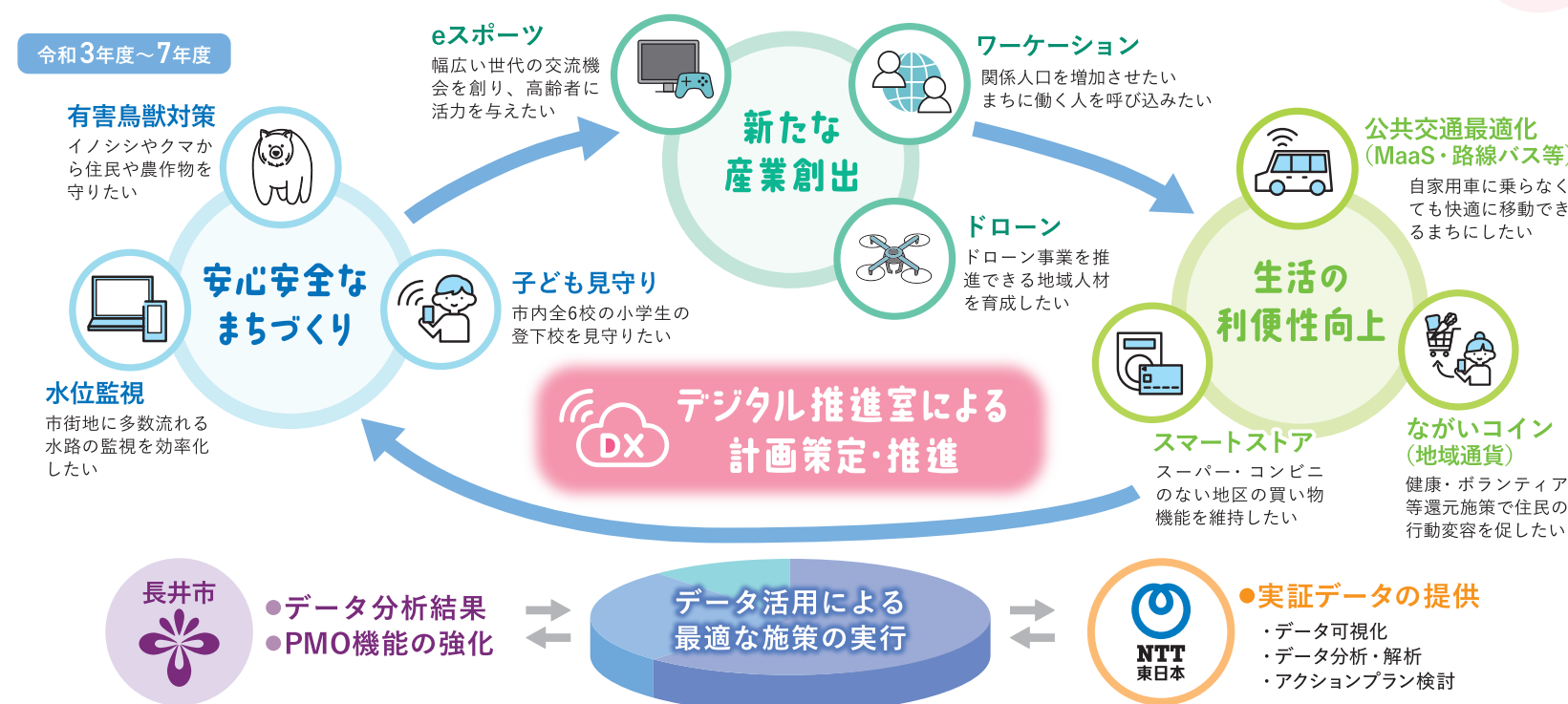
スマートシティ長井は、 これから もっと安心、もっと便利に！

長井市では令和3年度に開始した「スマートシティ長井実現事業」を皮切りに、各分野でのデジタル活用が進んでいます。多くのデジタル技術を効果的に活用していることで、「スマートシティのモデルケース」としても全国から多数の視察者が来訪するなど、新たな長井市の魅力づくりにも貢献しています。令和8年度からは、「スマートシティ長井2.0」として、DXを更に加速・高度化していく予定です。



スマートシティ長井実現事業のこれまでとこれからの道のり

令和8年度は“スマートシティ長井2.0”へ！



令和3年度 拠点整備

- ・タス再整備事業（コワーキング、ワークেশンルーム、eスポーツスタジオ）



令和4年度～6年度 デジタル実装

- ・道路障害判別システム構築事業
- ・介護認定業務におけるAI導入事業
- ・オンライン遠隔交流授業等実施事業
- ・統合型GIS整備事業
- ・児童センター ICT化事業
- ・訪問看護ステーションにおける電子カルテ導入等推進事業
- ・デジタルミュージアム整備事業

令和5年度 マイナ事例創出

- ・「ながいカード」環境構築事業



令和5年度～

- ・DXコンテストの開催



令和6年度～

- ・地場企業DXの推進

令和6年度～

- ・自動運転社会実装推進事業



令和7年度以降も
更なるデジタル活用を
推進！

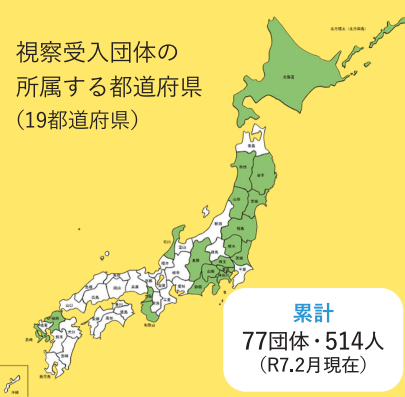
Focus

スマートシティの先進都市として、
視察や講演、メディア掲載も多数

- 「視察に参加した方からこんな声が！」
- 先進的な取り組みを学ぶことができ、大変刺激になりました。
- 幅広い分野で取り組みを展開しており、利便性を実感し、将来性を感じました。
- スマートシティ事業を参考にさせていただき、今後のまちづくりに活かしていきたいと思います。

視察受入実績

視察受入団体の
所属する都道府県
(19都道府県)



主な事例・記事掲載実績

- ・総務省 自治体DX推進参考事例集
- ・総務省 地方公務員月報（令和6年3月号）
- ・財務省 広報誌「ファイナンス」（令和4年9月号）
- ・デジタル庁 デジタル地方創生サービスカタログ
- ・内閣府 地方創生人材支援制度派遣者シンポジウム
- ・内閣府 地方創生人材 派遣者の手引き（インタビュー掲載）
- ・ジチタイワークス Be Unique!
- ・ジチタイワークス デジ田交付金セミナー講演
- ・東北総合通信局主催セミナー講演
- ・東北総合通信局 ICT活用事例集
- ・東北総合通信局主催 ICTフェアin東北出展
- ・全国市長会 機関誌「市政」（令和6年9月号）
- ・JAIPA（日本インターネットプロバイダー協会）集合同議の長井誘致・講演
- ・仙台市 TOHOKU DX GATEWAY出展（2023・2024連続）
- ・Sansan主催 自治体サミット登壇
- ・北上川バレープロジェクト講演
- ・日経ビジネス（デジタル推進型インタビュー記事掲載）

他多数

あやめRepo

発行／山形県長井市 問い合わせ／長井市総合政策課
tel.0238-82-8000 https://www.city.nagai.yamagata.jp



便利と安心が日常に。 スマートシティ長井の暮らし

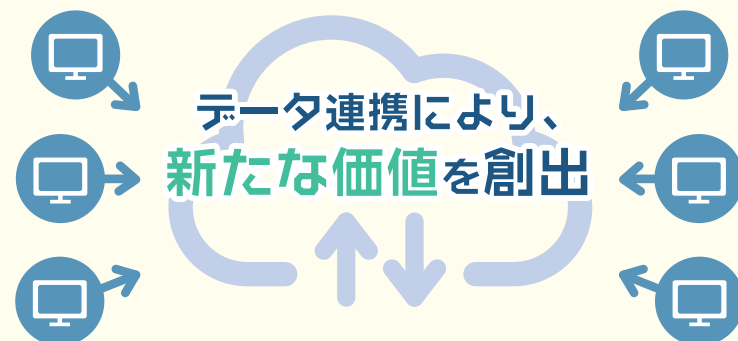


住みやすさと快適さが、ますます進化

長井市では、生活の様々な分野においてデジタル技術を活用し、誰もがいつまでも便利に安心して暮らすことができる「スマートシティ長井」の実現に向けた取り組みを実施しています。令和3年度から、デジタル地域通貨や有害鳥獣対策など合計12分野において取り組みを推進するとともに、それぞれの分野から収集したデータを横断的に分析し、新たな視点に立った課題解決やこれまでにない価値の創出を図ってきました。今回は、「スマートシティ長井」の取り組みが、日常生活のどのような場面で展開・活用され、メリットがあるのか紹介します。

様々な生活の中で、 ウェルビーイングを実現！※

※ウェルビーイング：個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。



ネットニュースでもたくさん取り上げられています！

スマートシティとしての 認知度・地域ブランディングも着々と進行中！

- 街を「スマート」に デジタル化に膨らむ期待（2022年4月6日/朝日新聞）
- 過疎化集落に「スマートストア」自治体主導は全国初、山形県長井市にオープン 高齢者など“デジタル弱者”のサポート急務（2022年5月7日/ZAKZAK）
- 市民向けにプレミアム付きデジタル地域通貨を販売、長井市（2022年5月25日/日経BP）
- 過疎化が進む集落に、ぽつんとできた「ハイテク店舗」山形県長井市役所の若手デジタル部隊が目指す「未来都市」とは（2022年6月23日/47news.jp）
- eスポーツ、気分いい多世代、大会観戦やゲーム体験（2023年3月27日/山形新聞「やまがたデジタルニュース」）
- マイナ施設便利に 長井 受け付け・鍵機能も（2024年3月29日/読売新聞オンライン）
- 災害で孤立した地区にドローンで物資を「スマートシティ」目指す長井市が実証実験（2024年8月22日/日テレNEWS NNN）

生成AI（ChatGPT）も
スマートシティの
代表的な事例に
長井市を掲出

長井市は日本の代表的な
スマートシティの一つです

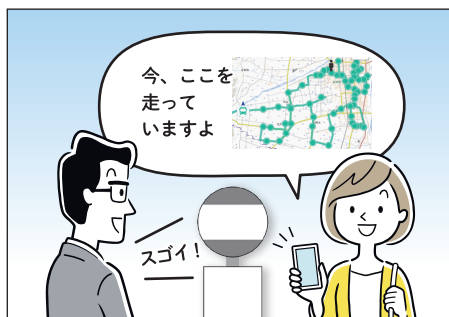
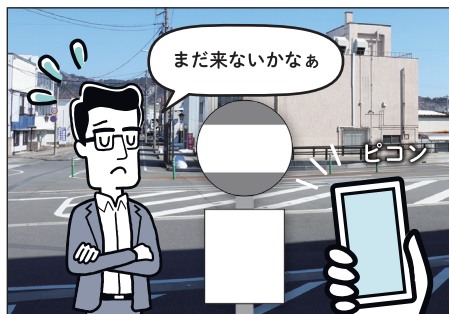
毎日の生活がより便利に。長井市を支える「スマートシティ長井」のデジタル技術



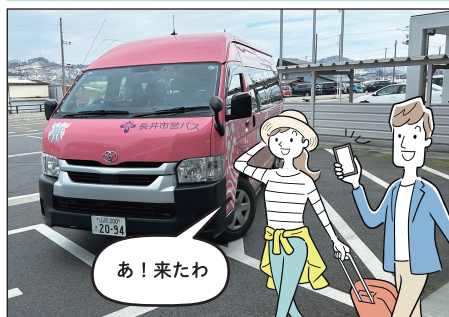
スマート
01

バスロケーションシステム

バス停にて



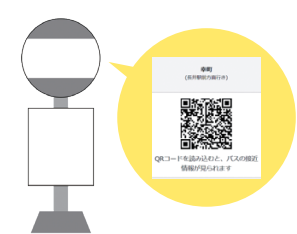
市外から訪れた観光客の人にも便利です！



市営バスが便利で
使いやすく！

各バス停表示板に貼り付けられた二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、バスの走行位置や遅延・混雑状況、路線検索ができます。

市内の人はもちろん、観光客も使うことができます。



各バス停表示板に貼り付けられた二次元コードをスマホなどで読み取る。



バスの走行位置が表示

さらに / データ分析による路線の最適化で、より使いやすいバスに



RFID*を付した定期券を乗降時にタッチすることで、匿名の乗降データを収集しています。このデータを分析し、ダイヤ改正やバス停再編など、バス路線の最適化に役立っています。

※RFID(Radio Frequency Identification)とは、電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み取るシステム

スマート
02

デジタル地域通貨「ながいコイン」

お店にて



貯めて使えば地域も元気に！
お得な独自の電子マネー

長井市独自のデジタル地域通貨で、二次元コードが印字されたカードと、スマートフォンでの2つの利用方法があります。加盟店は市内163店舗と、幅広いジャンルの加盟店がそろっており、地域イベントでの賞品や贈答品としての利用も増えています。

券種 ・1,005円券(1,000円で購入)
・5,025円券(5,000円で購入)

販売店 ・長井市役所売店
(Walkers CAFE & MARKET)
・道の駅川のみと長井
・伊佐沢コミュニティセンター
・おらんだ市場菜なポート



詳しくは/

さらに / 対象イベントに参加すればポイントが貯まる！



デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」をインストールし、マイナンバーカードと連携することで、市内の対象イベントに参加するとポイントが貯まります。

ポイント対象事業は、市のホームページや、「ポケットサイン」アプリのメッセージ機能などでお知らせします。

スマート
03

スマートストア（無人店舗）

長井市役所の売店にて



スマホ1つで、朝でも
夜でもお買い物

スマートストアは、レジに並ばず、自分のスマートフォンだけで簡単に買い物ができる無人店舗です。店頭には設置されている貸出用スマートフォンを使えば、スマートフォンを持っていない人も利用できます。早朝から夜間帯まで営業しているため、“ちょっとしたお買い物”にも便利です。

【店舗情報】

長井市役所スマートストア
【営業時間】
平日：無人販売 5時30分～21時30分
(有人販売時間：8時～16時30分)
土日祝日：無人販売のみ 5時30分～21時30分

伊佐沢スマートストア
【営業時間】
7時～22時（無人販売のみ）

【使い方】

1 専用アプリを起動し、二次元コードをかざして入店
2 商品のバーコードをスキャンし、アプリ内またはセルフレジで決済
3 アプリに表示される二次元コードをかざして退店

モバイルオーダーも利用できます
スマートストア(Walkers CAFE & MARKET) 公式LINEからコストコの人気商品を注文可能！注文した商品はスマートストア2店舗のうちいずれかで受け取れます。

詳しくは/

スマート
04

SIMを活用した子どもの見守り

離れていても、子どもの居場所が確認できる

市内の小学生を対象に、SIM*内蔵のGPS発信端末とスマホアプリを活用した、遠隔での子どもの見守りを実施しています。(R7.1月現在、児童445人が利用中)

学校の帰り道にて

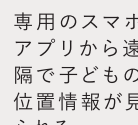


※SIM:Subscriber Identity Moduleの略。携帯電話などで使われる、利用者の情報(識別番号等)を記録した小型のカードで、電話回線を利用して通話やインターネットといった機能が使えるもの

子ども見守りのしくみ



こんな機能があります



専用のスマホアプリから遠隔で子どもの位置情報が見られる



自宅や学校に到着した際や、普段の行動範囲を離れた際に通知を受け取ることができる

スマート
05

eスポーツコンテンツ

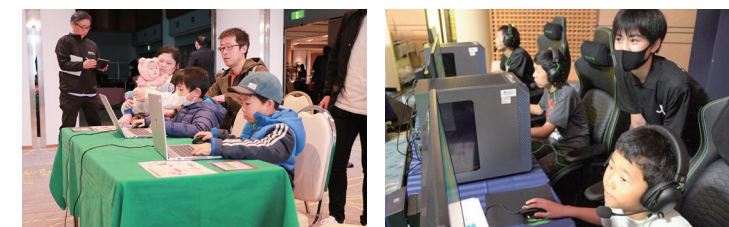
子どもからお年寄りまで気軽にデジタルを楽しむ

タスパークホテル長井の1階にある「Ne-st」では、高性能PCを10台設置するなど充実した環境でeスポーツに熱中することができます。常駐するスタッフのサポートの下、子どもからお年寄りまで、初めての人でも気軽に体験できます。観光客はホテルに宿泊しながら楽しめることも魅力です。

eスポーツスタジオ「Ne-st」にて



とある公民館にて



定期的なeスポーツイベントも開催中です。プログラミング教室やイラスト教室などの体験型教室もあり、遊びから学び、「やりたいこと」が見つかるきっかけを作ります。

さらに / 高齢者向けのeスポーツ教室も各地で開催

ミニデイサービスや高齢者の通いの場における新たなコンテンツとして、高齢者向けのeスポーツ教室も各地で開催しており、フレイル予防や、デジタルデバイドの解消にも役立っています。心拍数や反射速度の測定によりeスポーツの健康効果も検証しています。

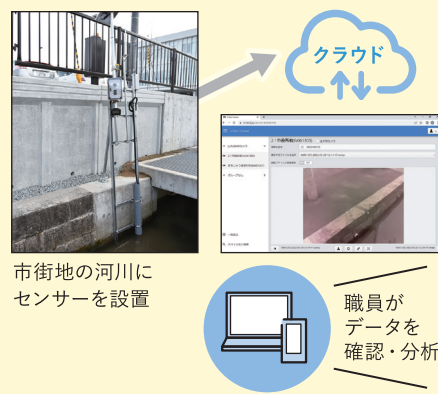
実はこんなところでも！デジタル技術が地域の安心・安全を支えています



河川の水位監視

まちなかの準用河川など20カ所にLPWA※を活用したカメラ・センサーを設置し、水位状況をリアルタイムで遠隔監視。水位情報は市の災害対策などに活用していきます。

※LPWA:Low Power Wide Areaの略。低消費電力で長距離の通信ができる無線通信技術の総称。太陽光やモバパイルバッテリーでも通信が可能で、主にIoTの分野で活用



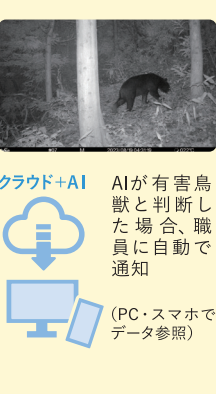
市街地の河川にセンサーを設置

職員がデータを確認・分析



有害鳥獣対策

クマやイノシシなどの有害鳥獣の出没が懸念される箇所に、猟友会と連携しモーションセンサーカメラを設置。動物が近くを通ると自動撮影し、AIが有害鳥獣かどうかを判断、職員へ通知します。効率的で低リスクな監視・対応を可能にしています。



クラウド+AI
AIが有害鳥獣と判断した場合、職員に自動で通知
(PC・スマホでデータ参照)



データの可視化

河川水位監視センサーや有害鳥獣対策カメラ、子どもの行動範囲に係るデータを1つのマップに可視化。子どもの生活圏におけるリスク把握、降雨時の注意喚起や、安全な通学路策定など、データを根拠とした取り組みをすすめています。



職員によるデータ分析

様々なデータの有効活用に向け、職員でデータ分析チームを発足。令和6年度はスキルアップとともに、4つのテーマでワークショップを実施。今後も職員の分析スキル向上を図り、データを活用した、より効果的な施策の展開につなげていきます。

